



ヒューマンライブラリー in にしのみや

【多様な生き方・働き方】をテーマに
5人が「本（語る人）」になります

- ① 学習者が夢中になれる日本語教育を目指して
(作者：ジョージ@日本語教師)
- ② 8カ国のアジア人のママたちと作ってきたレストラン
(作者：日本語しか喋れない多国籍料理屋の店長、今はシェフ)
- ③ 「バリキャリ」と呼ばないで
(作者：外資系メディアの元記者、今は大学教授)
- ④ 今日から、育休入ります
(作者：もとかつ)
- ⑤ 社会の外側を生きて——見えない「私」の物語
(作者：ゆき)

本のあらすじは裏面のブックリストをご覧ください

2025年 2月22日 (土)

14:00~15:35

感想シェア会 (希望者のみ) 15:35~16:05



人が本になる! ?
【ヒューマンライブラリー】
とは



「生きている図書館」「人生を貸し出す図書館」とも言われる、デンマーク発祥の対話型イベントです。「本」と呼ばれる語る人と参加者の「読者」が1つのテーブルについて30分間、「本」の語りを聞いたり「読者」と対話をしたりすることで、固定観念や誤解、偏見に気づき、さまざまな生き方を知る催しです。

今回は、1人の「本」
に対して最大4人の
「読者」で行います。



■会場 西宮市男女共同参画センターウェブ 図書・資料コーナー
(西宮市高松町 4-8 プレラにしのみや4F)

■定員 20人(先着順)

■参加費 無料

■申込方法 申込みフォーム(右側)・電話・窓口にて、「ブックリスト」(裏面)を参考に、希望の「本」を3冊選んで、お申込みください。

※読む「本」はこちらで振り分け、当日の受付時にお伝えします。申込み状況によっては、ご希望に添えない場合がありますこと、ご了承ください。



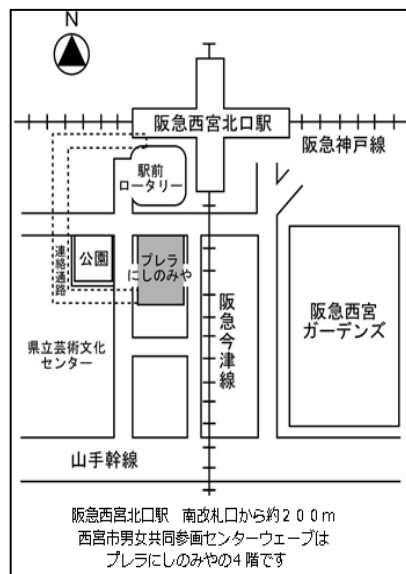
■託児 あり(1歳~就学前の子ども・要申込・先着順・¥切 2/14(金))

【協力】関学ヒューマンライブラリー

【申込み・問合せ】西宮市男女共同参画センター ウェーブ

〒663-8204 西宮市高松町 4-8 プレラにしのみや4F

TEL: 0798-64-9495 (月~土曜日 9:00~17:00)



阪急西宮北口駅 南改札口から約200m
西宮市男女共同参画センターウェブは
プレラにしのみやの4階です

ブックリスト

①	<h2>学習者が夢中になれる日本語教育を目指して</h2> <p>(ジョージ@日本語教師)</p> <p>日本語教師として働き始め、20年近くになります。失敗を重ねながらも「どうすれば学習者を夢中にさせ、勉強をサポートできるか」と考えながら日々の授業や教材作りを頑張ってきました。そんな私が博士課程に行くことに決めたのは、言語教育へのゲーム要素の導入というテーマに関心を持ったからです。研究は思うように進んでいませんが、将来のことを考えている皆さんに、仕事や研究のことをお話しできればと思います。</p>
②	<h2>8カ国のアジア人のママたちと作ってきたレストラン</h2> <p>(日本語しか喋れない多国籍料理屋の店長、今はシェフ)</p> <p>もし自分が異国の誰かを好きになり、結婚して言葉が通じない国で生活することになったらと想像してみてください。電車に乗れず、友達も仕事も見つからず、自国で当たり前前にできていたことができない。きっと孤独で自信をなくしてしまうでしょう。私は大学生の時、そんなアジア人のお母さん達に出会いました。何とかしたいと学生団体を立ち上げ、彼女達が得意な「料理」を屋台やカフェでの仕事にすることで、次第にお母さん達は元気になっていきました。より多くの雇用とエンパワメントの場を目指し「神戸アジア食堂バル SALA」を開業して8年。これまでの紆余曲折、そしてまだまだ続く冒険をお話しいたします。</p>
③	<h2>「バリキャリ」と呼ばないで</h2> <p>(外資系メディアの元記者、今は大学教授)</p> <p>「あなた、料理するのね!？」と驚いた友達の言葉は今も忘れません。私は料理を作り家族や友人に食べさせるのが大好き。彼女が驚いたのは自宅のパーティに招いた時のことでした。2年間アメリカ留学した後にいった外資系メディアでイギリスや日本で記者をした私は、今は大学で教えています。そんな「バリキャリ」の私は料理などしないと思われています。そんなステレオタイプは窮屈ですが、気にせずやりたいことをやっています。</p>
④	<h2>今日から、育休入ります</h2> <p>(もとかつ)</p> <p>2020年8月某日、妻の懸命な頑張りによって、第一子となる男の子が誕生しました。生まれた子どもの産声を聞き、妻の無事を知った瞬間、私は自然と涙が溢れ出たことを今でも覚えています。その日から、社内初の男性での育休がスタートしました。5ヶ月間の育休を通して、自分、家族、仕事それぞれにどう向き合い、何を感じ、どう行動したかを皆様にお伝えできればと思います。</p>
⑤	<h2>社会の外側を生きて——見えない「私」の物語</h2> <p>(ゆき)</p> <p>皆さんは「ひきこもり」と聞いてどんな人を思い浮かべるでしょうか。メディアでよく見る、自室から出てこないゲーム好きの男性?実際は女性も少なくありません。ですが“家事手伝い”や“専業主婦”といったように、女性は家に居ても問題ないという風潮から、女性の当事者は見えにくくなっています。そして同様に、発達障害も男性をモデルにして作られた概念です。女性で、ひきこもり当事者で、発達障害当事者でもある私の経験をもとに、社会に出て働くとはどういうことかを一緒に考えてみませんか。</p>

●参加のルール●

みなさんに気持ちよく参加いただくために、**以下の3つを守ってください。**

1. 「本（語る人）」に自由に質問していただいてもかまいません。ただし「本」を傷つけるような発言はしないでください。
2. 録音や撮影、また話された内容をSNSにアップすることは禁止とします。
3. イベント中は、スタッフ（「司書」・進行役）の案内や指示に従ってください。わからないことがあれば、遠慮なくスタッフに声をかけてください。

以上のルールを守って、ご参加ください。

◆電話と窓口で申込まれた方は、当日、受付に準備している参加ルール用紙にて確認を取っていただきます。ご協力くださいますよう、お願いいたします。

タイムスケジュール

- 13:45~14:00
受付
- 14:00~14:10
趣旨説明
ヒューマンライブラリーの説明および注意事項
- 14:10~14:40
第1セッション<30分>
- 14:40~14:50
休憩<10分>
- 14:50~15:20
第2セッション<30分>
- 15:20~15:35
全体の振り返り
アンケート記入
終了
- 15:35~16:05
感想シェア会